

広報 ふじ

平成21年

10 | 5 No.972

もくじ

- ② 平成20年度決算報告
- ⑥ 広域広報「Radio-f(ラジオエフ)」
- ⑧ 高額医療・高額介護合算制度／
富士市社会福祉大会
- ⑨ まちかどネットワーク
- ⑩ 暮らしのたより
- ⑭ 富士市写真館

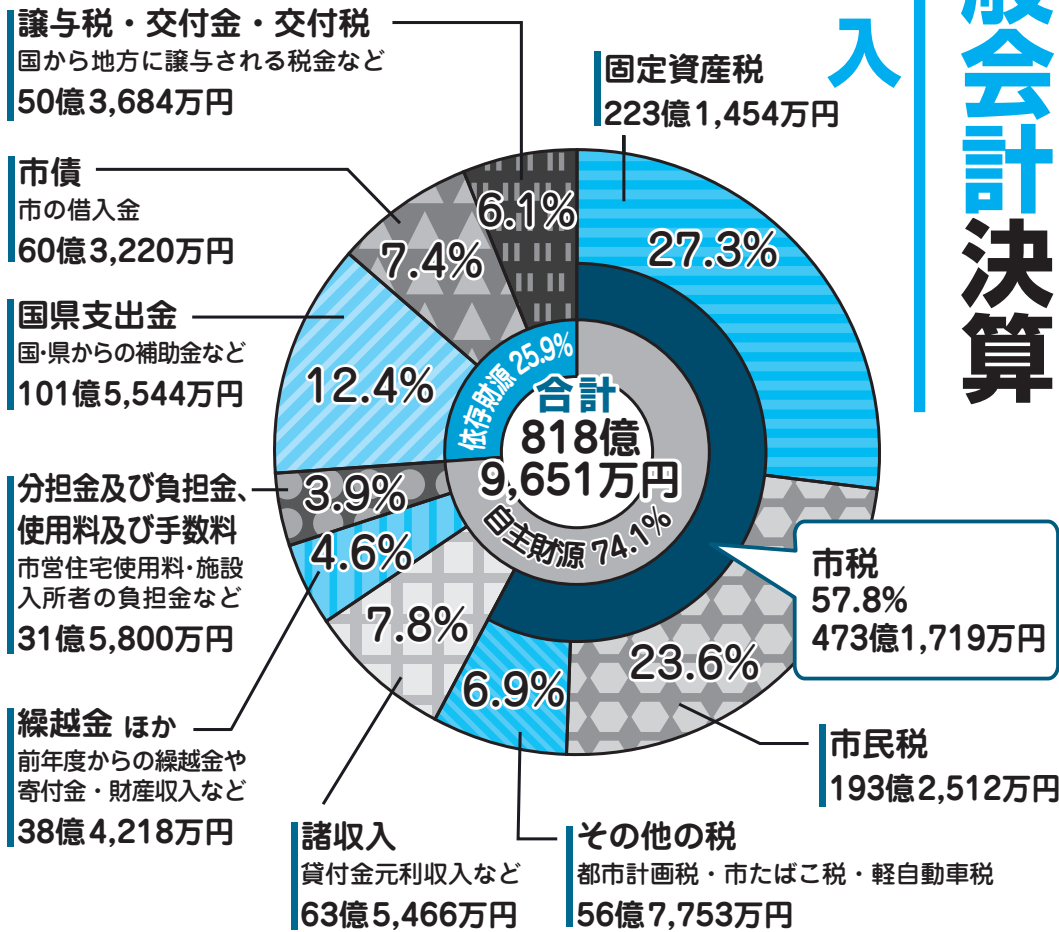
千しわらづくり 9月11日 富士岡南

平成20年度 富士市の財政事情 決算報告

平成20年度の富士市の決算について報告します。
皆さんの納めた税金がこの1年間でどのように使われたかを確認してみましょう。

一般会計決算

歳入

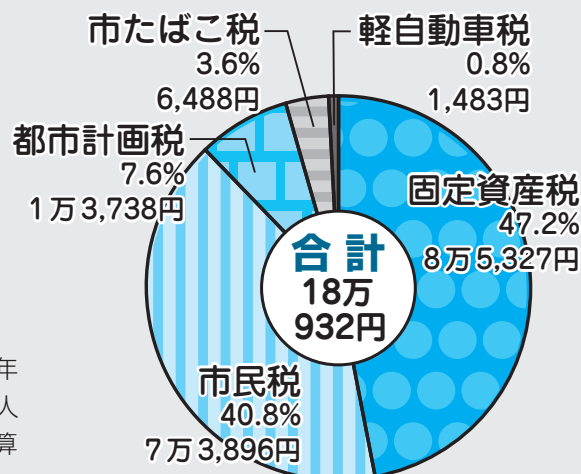


歳入の約6割は 皆さんの市税

歳入の約6割を占めるのは、市民や企業の皆さんから納めていただく市税です。平成20年度の市税の決算額は約473億円で、前年度から約16億円の増加となりました。これは、旧富士川町と合併したことによる個人市民税・法人市民税の増加、及び一部業種の設備投資や家屋の新增築による固定資産税の増加が主要因に挙げられます。

※市民1人当たりの金額は、平成21年3月末現在の富士市の総人口（外国人を含む）26万1,519人をもとに計算しています（3ページも同じ）。

市税収入を 市民1人当たりに換算すると…



歳出

公債費

市債などの償還金などに
78億3,763万円

衛生費

保健医療や
生活環境などに
80億991万円

消防費ほか

消防・防災対策などに
99億9,062万円

教育費

学校整備や
社会教育などに
99億4,913万円

民生費

社会福祉などに
191億4,612万円

土木費

道路や河川
などの整備に
124億1,955万円

総務費

市民生活や
市の管理などに
106億2,771万円

合計

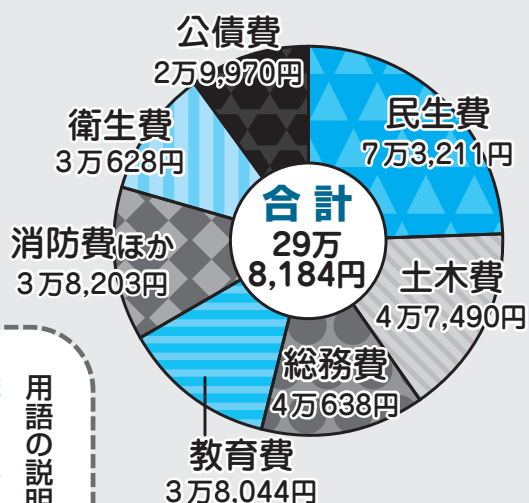
779億
8,067万円

歳出を市民1人当たりに換算すると…

歳出のトップは 7年連続で民生費

歳出を目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が24.6%を占め、7年連続で一番高くなっています。

民生費は、本格的な少子高齢社会の到来を受け、今後も高水準で推移することが見込まれます。



国や県からの補助金などを活用して、市民1人当たりの市税収入の1.6倍以上の行政サービス（支出）を提供しました。

用語の説明

歳入 年度内に入ってきたお金。

歳出 年度内に使ったお金。市が独自に徴収することができ、市民税、固定資産税、使用料や手数料など。

依存財源 自主財源に対し、国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、自動車取得税交付金、市債など。

市債 市が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金。

国庫支出金 特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金。

特別会計決算

歳入 510億6,670万円
歳出 503億4,544万円

特別会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	227億1,694万円	224億7,781万円
老人保健医療事業	16億2,282万円	16億1,813万円
後期高齢者医療事業	30億 326万円	29億7,043万円
介護保険事業	115億7,197万円	115億2,192万円
下水道事業	105億5,318万円	105億4,052万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	7億2,190万円	6億4,084万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	1億7,087万円	1億6,465万円
墓園事業	1億4,694万円	1億4,176万円
駐車場事業	6,642万円	6,438万円
公用地先行取得事業	1億 502万円	1億 502万円

市には14の特別会計がありますが、表中では財産管理特別会計（全4会計）を省略してあります。

水道事業



事業収益合計 28億5,205万円
事業費用合計 26億4,455万円
純利益 2億 750万円

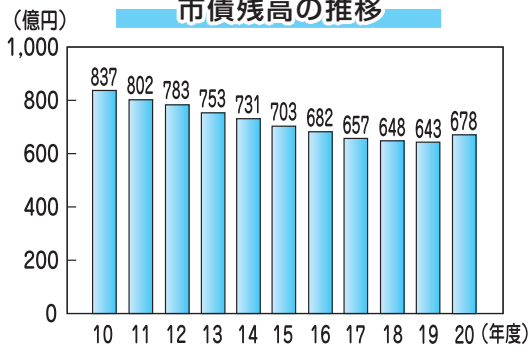
病院事業



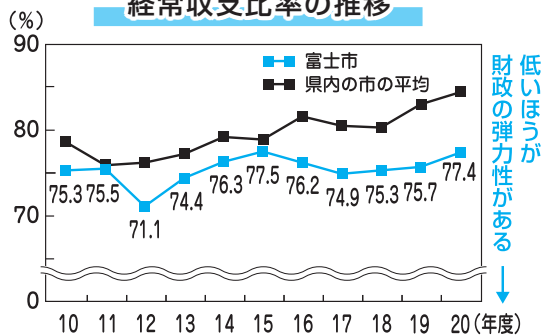
事業収益合計 120億4,488万円
事業費用合計 122億7,974万円
純損失 2億3,486万円

企業会計決算

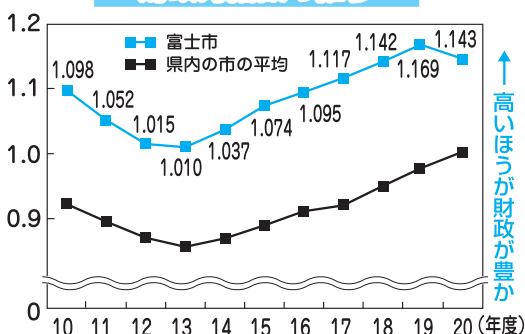
市債残高の推移



経常収支比率の推移



財政力指数の推移



市債は市の借入金で、将来にわたって利用される道路や学校などの整備資金を、将来の世代にも公平に負担してもらおうためのものです。家計でいうと、ローンに当たります。

平成20年度末一般会計、土地区画整理事業、墓園事業などの市債残高は678億円で、昨年に比べて約35億円増加しました。これは、旧富士川町との合併によるもので、この影響を除くと平成9年度以降、市の借入金は年々減少しています。

毎年の経常的に支出される経費（人件費など）が、毎年経常的に入ってくる収入（市税など）に占める比率を経常収支比率と言います。

財政の構造の弾力性を判断する指標で、この比率が高いほど財政が硬直していることを意味します。一般的に都市では75%程度が適正水準です。富士市の平成20年度の数値は77.4%ですが、同規模の市と比べて、低い水準を保っています。

※平成20年度は、合併の特例として、旧富士川町分の普通交付税の交付を受けています。

↑高いほうが財政が豊か

特色1
借入金は年々減少
市債現在高

特色2
新しい仕事に使える
ゆとりがあります
経常収支比率

特色3
国からの財政支援は
受けていません
財政力指数

どうなっているの？富士市の財政状況
富士市財政の特色

教育費

- 青少年の船事業
6,053万円



- 富士川第一中学校屋内運動場改築事業
3億7,271万円

- 消防車両整備事業
1億4,083万円

消防費



- ◀ 水槽付消防ポンプ自動車整備（大淵分署に配置）
3,350万円



- ◀ 化学消防ポンプ自動車整備（臨港分署に配置）
7,397万円

- 高規格救急自動車整備（鷹岡分署に配置）
1,628万円



- 消防活動費
1,643万円
＜火災＞ 100件発生。延べ1,794人が出動
＜救助＞ 125件発生。延べ2,413人が出動
- 防災無線整備
3,813万円
緊急地震速報受信装置整備（小・中学校など）
同報無線受信局新設など

衛生費

- がん検診推進事業
2億 585万円
胃がん・乳がん検診など、延べ5万4,715人が受診
- 住宅用太陽光発電整備導入補助事業
1,410万円

民生費



- こども医療費の助成
4億6,232万円
小学校2年生終了前の児童2万2,845人が対象。延べ33万9,445件に助成
- 放課後児童健全育成事業
2億5,750万円
いまいずみ児童クラブ整備 5,172万円
こぎの里子どもクラブ整備 5,039万円
吉永第一児童クラブ整備 1,576万円

土木費



- コミュニティバスなどの運行事業
2,015万円
ナイトシャトル・しおかぜの運行、みなバス・こうめの実証運行
- 東海道本線^{こせん}跨線橋（富士大橋）耐震補強事業
2億7,492万円
富士大橋耐震補強工事・防護柵設置工事ほか

総務費

- 庁舎耐震補強事業
6億5,835万円
- 富士川まちづくりセンター・松野まちづくりセンター改修事業
1億 662万円
- 合併記念式典行事
722万円
合併記念式典、ふじかわ発‘人の交流’イベントなど

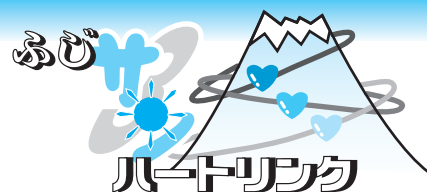


平成20年度に行った事業の一部をご紹介します

問い合わせ

財政課 ☎55-2725 FAX 51-1479
E zaisei@div.city.fuji.shizuoka.jp
http://fujishi.jp

富士地区広域広報コーナー 8.11 地震発生!



そのとき Radio-f 84.4FMは

8月11日(火)に発生した地震では、富士宮市で震度5強を観測したほか、富士市・芝川町でも震度4を観測しました。

災害が起きたとき、富士地区に住んでいる皆さんにとって有効な情報収集手段となるのが、ことし11月に開局4周年を迎えるコミュニティFM「Radio-f (ラジオエフ)」です。

今回は、災害時のラジオエフの活用について聞きました。

このコーナーでは、富士地区2市1町にかかわりのある広範な情報をお知らせします。このコーナーに関するお問い合わせは、各市町の広報担当部署まで。

聞き手：富士地区広域広報編集担当
場所：富士市民活動センター



車内のラジオは84.4FMへ

きょうは、8月11日の大きな地震が起きたときのラジオエフの対応と活用方法について、ラジオエフ防災担当の佐野智恵子さんにお聞きします。

まず、地震が発生したとき、ラジオエフではどのような対応をしますか？

ラジオエフの防災マニュアルでは、震度5弱の揺れがFエリア(富士市・富士宮市・芝川町)に1か所でも観測されたら、スタッフは出社することになっています。

今回の地震の発生は5時7分でしたが、10分後には2人、30分後には4人のスタッフが集まりました。実際、放送を始めたのは5時20分ごろで、その後、2名のスタッフが富士市の消防防災庁舎に行つて、5時45分くらいから1時間15分にわたって放送を行いました。残りのスタッフは、ラジオエフ本社で情報収集をしていました。

消防防災庁舎に移動してから、放送内容に変化がありましたか？

ありましたね。ラジオエフは人手がないため、災害現場に行けません。電話取材がメインになるのですが、ご存じのとおり全く電話が通じない時間帯もありました。情報を得ることができなくて困りましたね。

消防防災庁舎では災害対策本部が設置されていて、地区ごとの情報が整理されて入ってくるんです。例えば「大淵地区のどこで水が出ていない」「鷹岡地区もそうらしい」など、いつものように私たちもリスナーの皆さんに情報提供を呼びかけると、「富士宮のどこで水が出ていない」「芝川で近所の斜面が崩れた」などの生の情報が寄せられました。

今回の地震で強く感じたのは、地域の声が、その災害現場をリアルに示している生の声だということです。「うちの近所は人がいない」、駅の近くに住んでいる人から、「どうやら身延線が動いていないらしい」など、見たままの状況を伝えるという現地レポーターのような形で参加してくださったのがとてもうれしかったですね。メッセージも150件を超えました。



富士コミュニティエフエム放送(株)
営業部長・防災担当
佐野 智恵子さん

印象に残ったリスナーの声はありますか？

まず、「水が出ない」という声が多く寄せられました。特に朝は水が大事ですね。顔を洗ったり調理したりするのに…。水が出なくて皆さん困ってしまったのではないでしょう。

災害時の訓練と現実の差はありましたか？

今回は比較的被害が少なかったのですが、訓練どおりに対応できたと思います。でも、大災害が発生したと想定すると、見直すべきことも発見できました。車で出社してよかったのか、携帯電話で連絡を取り合うのはやめたほうがいいんじゃないかなど…。

放送内容についても同様で、「緊急の電話以外は使わないで。メールにして」など呼びかけたほうがよいことも確認できたように思います。



9月1日の防災訓練時、富士市消防防災庁舎防災無線室から放送

ラジオエフをどのように活用してほしいですか？

聞いていただくのはもちろんですが、皆さんに発信者になってほしいなと思います。あなたしか知らない地域の情報が必ずあると思うので、常日ごろ見て感じたことを、率直に教えてください。発見したことや身近なこと、不思議に思っていることや知りたいことがあれば教えてほしいですね。

今回の地震で何か課題が出てきましたか？

そうですね。ライフラインの情報や地域住民の生活の根幹を担っている人たちとの情報連絡がどれだけ密にとれるかが、今後の課題になると思います。それから、今回リスナーの皆さんからの情報提供の多さにびっくりしたのですが、これをもっともっとふやしていきたいと思いました。

ずばり、ラジオエフの果たす役割とは何ですか？

いつも災害のことを頭の片隅において、交通、天気、災害情報といったきめ細かな情報を的確にできるだけ早く伝えたいと思っています。

また、自然に情報が集まってくる場所でありたいとも思っています。地域の皆さんが発信してくださった情報を集約してわかりやすく放送することが、ラジオエフの一番大きな役割ではないかと思っています。もちろん、いつものパーソナリティが落ちついて放送することによって、パニックも抑えられるのではないかと考えています。

佐野さんご自身が阪神淡路大震災で被災した体験から、ラジオの仕事についたと伺いました。リスナーに一番伝えたいことは？

地震が起きると、だれも助けくれません。それは、いつも心にとめておいてください。

私が避難していた学校のグラウンドでは、けがをして血だらけの人たちもたくさんいました。寒いし、食べる物はないし、トイレは常に行列ができていました。でも、消防車も救急車も来てくれない、医薬品も傷口を洗う水もない。その中で、自分と自分の家族が生き延びるために何ができるのかを考えてもらいたいです。

絶対やっておくべきことが家の耐震補強です。皆さんからよく「避難場所ってどんな生活ができるんですか」と聞かれますが、家が壊れなければ避難生活だってしなくていいし、倒れてくるものがなければ、けがもしません。とにかく家で過ごせるように耐震対策をしっかり行ってほしいですね。

最後に一言お願いします。

ラジオエフは、地域の「最新情報」を放送していきたいと思っています。その「最新情報」というのは、平常時も災害時も、全部地域の皆さんが持っている情報なんです。ぜひ、どんどん自分の身近な情報を教えてください。

佐野さんありがとうございました。

問い合わせ

富士コミュニティエフエム放送(株)

☎(55) 1123 FAX(57) 6812

✉ 844@radio-f.jp



富士コミュニティエフエム放送(株)
代表取締役 (前富士ニュース社社長)
小串 勝征さん

ことし7月から代表取締役に就任した小串勝征さんに、今後のラジオエフのあり方について聞きました。

やはり地域防災ですね。住民の命と財産を守るのが放送局の第一の使命だと思います。

私は新聞社の社長もやっているので、これからの構想としては、記者が取材をした地域住民の生の声を、ラジオエフと提携して放送できればと思っています。活字と話す言葉で

表現方法に違いはありますが、それをどのように連携していったらいいのか考えています。新聞社には記者がいるし、情報はたくさん持っていますから、新聞で扱った話をうまくラジオに取り入れていけば、よりよい情報提供になりますよ。

ラジオは感情を揺さぶるメディア、新聞は事実を正確に伝えるメディアです。それが融合したらおもしろいラジオ局になりますね。

高額医療・高額介護合算制度

が始まりました

高額医療・高額介護合算制度
って何？

世帯内の同一医療保険加入者が、毎年8月～翌年7月の1年間に支払った医療保険と介護保険の自己負担額を計算し、自己負担限度額を超えた分の金額を高額介護合算療養費として支給する制度です。

対象となるのは？

平成20年度は、平成20年4月1日～平成21年7月31日にかかった自己負担額を合算対象とします。

ただし、月単位で支給される高額療養費や高額介護サービス費、食費、差額ベッド代などは合算の対象にはなりません。

■国民健康保険加入者は市役所で手続を

平成21年7月31日現在、富士市の国民健康保険に加入している人が対象です。支給対象者には、12月以降に通知します。通知が届いたら、国民健康保険課（市役所3階）に支給の申請をしてください。

次の人は、申請前に、転入前の市町村や以前加入していた医療・介護保険の窓口で自己負担額証明書の交付が必要です。
平成20年4月～平成21年7月に

①富士市に転入した人
②ほかの医療保険から国民健康保険に変わった人

■自己負担限度額■

年齢	所得区分	昨年4月～ことし7月の自己負担限度額	ことし8月～来年7月の自己負担限度額
70歳未満	上位所得者	168万円	126万円
	一般	89万円	67万円
	住民税非課税世帯	45万円	34万円
70歳～74歳	現役並み所得者	89万円	67万円
	一般	75万円	56万円
	低所得者Ⅱ	41万円	31万円
	低所得者Ⅰ	25万円	19万円

上位所得者：国民健康保険税の算定の基礎となる基礎控除後の総所得金額などが600万円以上の場合

現役並み所得者：高齢受給者証の負担割合が3割の人

低所得者Ⅱ：世帯員全員が、住民税非課税の場合

低所得者Ⅰ：低所得者Ⅱのうち、その世帯員の各所得が0円の場合。年金所得は所得控除を80万円として計算

■国民健康保険以外の医療保険加入者は、各医療保険窓口か、介護保険課へ問い合わせを

問い合わせ

■国民健康保険加入者

国民健康保険課

☎(55)2751

FAX(51)2521

■国民健康保険以外の医療保険加入者

各医療保険窓口または、介護保険課

☎(55)2766

FAX(51)0321

富士市社会福祉大会

11月12日(木) 13:00～16:00

ロゼシアター中ホール

入場無料

表彰状、感謝状贈呈

福祉の推進に寄与した団体や個人、福祉事業を支援する事業所などに対して、表彰状の授与や感謝状の贈呈を行います。

活動発表「オカリナと出会えて」

オカリナアンサンブル バイオレット・ブーケ

社会福祉協議会ボランティアセンターに、「特技ボランティア」として登録し、福祉施設・放課後児童クラブなどのイベントで、オカリナ演奏を披露しています。

私たちが安心して生活するためには、一人一人が支え合い、助け合うことが大切です。

社会福祉大会は、市民の皆さんに福祉について身近に考えていただくため、昭和48年から毎年開かれ、ことしで37回目を迎えます。

どなたでもお気軽にご来場ください。皆さんもこの機会に福祉について考えてみませんか？

記念講演「食が乱れば、心も荒む」

永山 久夫さん(食文化史研究家・西武文理大学客員教授)



1934年、福島県生まれ。古代から明治時代までの食事復元研究の第一人者として活躍する食文化史研究家です。古代食や長寿食、情報化時代の頭脳食などをテーマにした講演を、各地で行っています。

※託児を希望する人は、事前に直接または電話で社会福祉協議会へお申し込みください(定員20人、先着順。無料)。

福祉総務課
社会福祉協議会

☎55-2840
☎64-6600

FAX52-2290
FAX64-6567

Efu-fukushisoumu@div.city.fuji.shizuoka.jp
Eex-shakyo@city.fuji.shizuoka.jp

お便りをお待ちしています



このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。あなたの情報を、ぜひ広報広聴課へお寄せください。

☎55-2700 ☎51-1456

✉kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp

まちかど ネットワーク



世界陸上に出場した、棒高跳びの日本代表選手

鈴木 崇文さん

たかふみ

(富士中学校出身)

8 月下旬に、ドイツ・ベルリンで世界陸上競技選手権大会が開催され、富士市出身の鈴木崇文さん(東海大学4年生)が、棒高跳び競技に出場しました。

鈴木さんが棒高跳びを始めたのは中学1年生のとき。鈴木さんは「棒高跳びの魅力は、何と言ってもボールの反発力で体が空中へはじかれ、無重力感を体感できること。自分の身長2、3倍を飛べることも魅力の一つですね」と話します。

その魅力から競技にのめり込み、中学生時代から世界の舞台を夢見ていたという鈴木さんは、今回、その夢を実現させました。世界陸上の感想を聞くと「世界の雰囲気を感じ、今まで味わったことのない舞台を経験しました。競技場がとても広く、観客の歓声が地鳴りのように聞こえてすごかったですね。落ちてついで跳べた大会中は思っていました。帰国後ビデオを見ると、そうではなかったと気づ



きました。自分の力をすべて出し切れず、反省の残る大会になりましたが、この貴重な経験を次にどう生かしていくかが大切だと思っています」と振り返ります。帰国後も大会が続く、日々練習をしている鈴木さんは、「棒高跳びは、精神面が重要な競技です。集中力が高いときは跳んでいる間、場面がとまつて見えます。また年に何回かは、跳ぶ前に助走路とバーしか見えないときがあり、そのときはいい結果を残せることが多いですね。試合では、どれだけ落ちついてやれるかが、かぎだと思っています。そのためには、練習の積み重ねが大切です。今まで頑張ってきたのは、支えてくれた皆さんのおかげ。いい成績を残すことが皆さんへの恩返しだと思っています。今後も、世界に挑んでいきたいですね」とひとみを輝かせながら話してくれました。これからの活躍に目が離せないですね。



▲大会当日は、練習の成果を発揮！

7 月に袋井市で行われた静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部で、消防団第1分団(吉原)が見事1位の座を獲得。ポンプ車操法の部で富士市消防団が優勝するのは初めてのことで、ポンプ車操法とは、20メートルある3本のホースを1つにつなぎ、ポンプ車の放水口から63メートル離れた的に水を当て、速さと正確さを競います。指揮者を務めた豊島さんは、「今の隊は2年半前に結成され、ずっと県大会優勝を目標にしてきました。6人の隊員が目標に向かって一致団結し、頑張ってきたのが勝因だと思います」と話します。

消防団第1分団

県消防操法大会ポンプ車操法の部で富士市が初優勝



▲(左上から横に)豊島大輔さん、渡辺高志さん、山田俊彦さん、鈴木邦治さん、林直弥さん、鈴木崇史さん

大会では、日常生活にはないきびきびとした動きが求められます。随所に決めポーズがあつて、いかに正確にできるかがポイントです。

「練習を重ねることが自信につながるので、毎週2、3回の練習を積んできました。その成果を発揮すれば優勝できるという自信がありました。もちろん指導してくださった皆さんや家族のおかげもあります。第1分団の団員には、もともと吉原祇園祭での結びつきがあります。結束力があり、何でも1番にこだわる子どもみたいな人が集まっているんですよ」と皆さん笑顔で話してくれました。

第1分団の皆さんは、来年の11月に、『消防団の甲子園』と言われる全国大会に出場します。「目指すは全国優勝。出場するからには、悔いを残さないように勝ちたいですね」とだれもが熱く話します。全国大会でもよい結果が期待できそうですね。

「フリーマーケット in SOUGOU」出店者

りぶす富士（公園事業課） ☎37-2280
 と き 11月7日(土) 10:00～14:00
 （雨天中止）
 ところ 富士総合運動公園多目的広場
 対 象 市内在住・在勤・在学の20歳以上の人
 対象商品 家庭にある不用品で、使用可能なもの（食品は不可）
 店舗数 60店舗（1店舗2人以上で運営）
 参加費 1店舗1,000円
 ※申し込み方法など詳しくは、公園事業課へお問い合わせください。

講座・教室

天間まちづくりセンター講座 ぶらりバレエエクササイズ

天間まちづくりセンター ☎71-4007
 と き 11月13日～平成22年1月15日の原則毎週金曜日
 19:00～20:30 計9回
 ところ 天間まちづくりセンター
 対 象 市内在住・在勤の40歳未満の成人
 定 員 20人（応募者多数の場合抽せん）
 受講料 300円
 申し込み 10月16日～29日に、はがきを持参し直接または往復はがき・Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒419-0205 天間1106-1 天間まちづくりセンターへ
 ☎c-tenma@div.city.fuji.shizuoka.jp

10月の教育委員会会議

10月定例会を次のように開催します
 （傍聴できます）

と き 10月20日(火) 13:30～
 ところ 岩松中学校会議室
 教育総務課 ☎55-2865

教育シンポジウム2009 ～夢を探究する富士市立高等学校～

教育総務課 ☎55-2865
 と き 11月15日(日) 13:00～16:00
 ところ 吉原商業高校視聴覚ホール
 内 容 概要説明、講演、パネルディスカッション、個別相談
 定 員 280人（応募者多数の場合抽せん）
 入場料 無料
 申し込み 10月30日までに、電話で教育総務課へ

介護予防講演会 ～健康は笑いから～

高齢者地域包括支援センター ☎66-3405
 と き 11月18日(水) 13:30～15:00
 ところ ロゼシアター中ホール
 講 師 三笑亭夢之助さん（落語家）
 定 員 700人（先着順）
 受講料 無料
 申し込み 10月19日～11月13日に、直接または電話・FAXで高齢者地域包括支援センターへ ☎66-3745

※ライイス RICE処置実践教室

りぶす富士（富士市交流センター） ☎65-5523
 と き 11月17日(火)・24日(火)
 19:00～20:30 計2回
 ところ 富士市交流プラザ第1会議室
 定 員 40人（応募者多数の場合抽せん）
 受講料 2,000円（2回分）
 申し込み 10月19日～25日（必着）の8:30～20:30に、直接またはFAX・はがきに教室名、住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号を記入し、〒416-0915 富士町20-1 富士市交流センターへ ☎65-5538
 ※RICE処置とは、運動時や日常生活において発生する傷病への応急処置をいいます。

週末親子ボランティア講座

ボランティアセンター ☎64-7100
 と き 11月14日(土) 10:00～12:00
 ところ フィランセ東館3階ボランティアルーム
 内 容 週末に活動できるおもちゃ図書館ボランティアの紹介など
 対 象 小・中学生の親子
 定 員 30組（先着順）
 受講料 無料
 申し込み 10月19日～11月4日に、電話でボランティアセンターへ

ボランティアのための よみきかせ講座（中級者向け）

中央図書館 ☎51-4946
 と き 11月17日(火) 10:30～15:30
 ところ 中央図書館2階視聴覚室
 内 容 集団に対するよみきかせの基本と選書について
 講 師 根岸貴子さん（子どもの本研究所所員）
 定 員 50人（先着順）
 受講料 無料
 申し込み 10月22日(木)の9:00から受け付けます。直接またはFAXで中央図書館へ ☎51-7135

夜間・日曜納税相談

10月26日(月) 17:00～19:00
 11月1日(日) 9:00～16:00

収納課 ☎55-2730

市立看護専門学校学生祭 第17回 紫苑祭

★10月23日(金) 13:30～15:00
 ジャズコンサート
 演奏：スパイラル5（河野豊さんほか）
 ※無料。当日直接会場へ。
 ★10月24日(土) 10:00～15:00
 校内イベント・一般公開
 学習発表、バザー、模擬店など



市立看護専門学校 ☎64-3131

～めざせ！ごみ減量～ スマートだより

『生ごみを減量しよう!』

生ごみを家庭で処理する方法として、電気式生ごみ処理機の利用やEMぼかしによる生ごみ堆肥化があります。市は、電気式生ごみ処理機につ

いては購入費の2分の1相当額（上限3万円）を補助（事前に申請が必要）し、EMぼかしについては使用する際の容器を支給しています。

廃棄物対策課 ☎55-2769

お知らせ

平成22年 1月10日
富士市成人式

社会教育課 ☎55-2873

と き 平成22年 1月10日(日)
受付13:15～、開式14:00～
ところ ロゼシアター大ホール
対 象 市内在住の平成元年 4月2日～平成2年 4月1日に生まれた人
★市外に転出していて、成人式への参加を希望する人は、11月2日以降(土・日曜日、祝日を除く)に、社会教育課に電話でご連絡ください。

※案内状の発送は12月上旬を予定。

クマとの遭遇を避けるために

環境保全課 ☎55-2773

ハイキングやキノコ狩りなど山の自然と触れ合う季節になりました。富士山ろくや愛鷹山ろくの山間部に入る際には、クマとの遭遇を避けるために次のことに注意しましょう。
○朝方と夕方の沢での行動は、特に危険です
○ドングリの実がある林には、昼間でも出没します
○明るくて見通しのよい場所で行動してください
○単独での行動は避けてください
○鈴やラジオなど音のするものを身につけてください

第1回 富士北地区「北翔まつり」

富士北まちづくりセンター ☎64-0099
と き 10月25日(日) 11:30～15:00
(小雨決行)
ところ 富士中央小学校グラウンド

11月の市役所休日開庁日

開庁日 11月1日(日) 9:00～16:00

開庁窓口

★市民課 (☎55-2747)

★収納課 (☎55-2729)

★国民健康保険課 (☎55-2751)

★廃棄物対策課 (☎55-2770)

秋の出張行政相談

市民安全課 ☎55-2750

秋の行政相談週間(10月19日～25日)に合わせて、出張行政相談を行います。毎日の暮らしの中で、国の仕事に対する苦情や意見、要望はありませんか？相談は無料。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

と き 10月20日(火) 10:00～15:00
ところ 富士南まちづくりセンター
※同時に、人権擁護委員による人権相談も実施します。

行政相談・定例相談日

と き 毎月第2・4金曜日
13:00～15:00

ところ 市民相談室(市役所3階)

国民健康保険 特定健康診査(集団)追加日程

国民健康保険課 ☎55-2751

特定健康診査集団健診を希望する人は、健診日1週間前までに「国保の特定健診希望」と申し込んでください。

対 象 40～74歳の国民健康保険加入者で、特定健診未受診の人
健診日 11月2日・9日・12日・13日 受付12:30～12:45

健診会場 富士市医師会館(伝法2850)

申し込み 月～金曜日の9:00～16:00(祝日を除く)に、電話で富士市医師会へ ☎52-3111

国民健康保険 出産育児一時金の 申請方法・支給金額の変更

国民健康保険課 ☎55-2751

10月1日以降の出産から、出産にかかる妊産婦の経済的負担の軽減を図るため、窓口での現金支払いが少なく済むよう「医療機関などへの直接支払制度」が始まりました。

あわせて、出産育児一時金の支給額を1産児当たり4万円引き上げます。これらの制度により、富士市国民健康保険加入者が出産したときには、42万円までの費用は窓口で支払わずに済むようになります。

★直接支払制度の申し込みなど
直接出産する医療機関などへ

★出産育児一時金の引き上げ

引き上げ金額 4万円(1産児につき38万円→42万円)

里親になりませんか？ ～10月は里親月間です～

子育て支援課 ☎55-2763

養育里親 子どもが自立できるまでの期間を養育

親族里親 3親等以内の親族が養育

専門里親 虐待を受けた子どもを2年以内で養育

養子縁組希望里親

養子縁組による養育

※里親は随時受け付けています。子育て支援課または県東部児童相談所(☎055-920-2083)へお問い合わせください。

募 集

小学生将棋大会 (伝法児童クラブ主催)

子育て支援課 ☎55-2731

と き 10月25日(日) 10:00～12:00
(集合9:30)

ところ 伝法まちづくりセンター

参加費 無料

申し込み 10月22日までに、電話で伝法児童クラブ室へ ☎53-4740

※当日受け付け可。

※小学生ならだれでも参加できます。

健康ふじ21 標語コンクール ～募集テーマは“歯の健康づくり”～

健康対策課 ☎64-9023

市民の皆さんが、歯の健康に目を向け、むし歯予防や歯周病予防に取り組めるような標語を募集します。

募集資格 市内在住・在勤・在学の人

申し込み 11月4日(必着)までに、

はがきまたは、はがき大の紙に、標語(1人につき1点)、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、学校名(学年)または勤務先を記入し、直接または郵送で、〒416-8558 本市場432-1 フィランセ健康対策課「健康ふじ21標語コンクール」係へ

児童手当の振り込みを ご確認ください

児童手当の10月期分(6～9月)を10月9日(金)に受給者の口座に振り込みます。ご確認ください。

子育て支援課 ☎55-2738

こころのボランティア講座

障害福祉課 ☎55-2761
と き 11月11日(水)・17日(火)・25日(水)、11月30日(月)～12月11日(金)のうち1日、12月15日(火) 13:30～16:00 計5回
ところ 県富士総合庁舎
内 容 講話、グループワーク、施設見学、実習
対 象 心の病を持つ人に対するボランティア活動に関心のある人
定 員 35人程度(先着順)
受講料 無料
申し込み 10月20日～11月4日に、電話またはFAXで富士健康福祉センターへ
 ☎65-2155 ☎65-2288

第4回 音楽と楽しむ
おいしいコーヒーの入れ方教室

りぶす富士(ラ・ホール富士) ☎53-4300
と き 11月24日(火)・25日(水)・26日(木) 19:00～21:00
ところ ラ・ホール富士2階ドリームキッチン「NAGOMI」
講 師 加藤強さん(クラシフィカドール[コーヒー鑑定士])
定 員 各30人(応募者多数の場合抽せん)
受講料 500円(事前徴収)
申し込み 10月28日～11月9日(必着)に、直接または電話・FAXに教室名(受講希望日)、住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先及びその住所を記入し、ラ・ホール富士へ ☎53-2040

～認知症の家族を介護している人のための～
介護者教室

介護保険課 ☎55-2767
 認知症への理解を深め、「その人らしさ」を大切にするケアを学んでみませんか?
と き 11月20日から12月18日の毎週金曜日(12月11日を除く) 13:30～15:30 計4回
ところ 富士駅南まちづくりセンター・小木の里ホール
内 容 認知症の知識や福祉サービスの講習、マッサージ、交流会など
定 員 30人(先着順)
受講料 無料
申し込み 10月20日～11月10日に、電話で介護保険課へ

元気アップ教室
～介護予防のための講話や実技～

高齢者地域包括支援センター ☎66-3405

とき(各計5回)	ところ	締切日	申し込み・問い合わせ
10月23日からの毎週金曜日 13:30～15:00	神戸まちづくりセンター	10月21日	在宅介護支援センター ふじみ台 ☎23-1234
11月2日からの原則毎週月曜日 14:00～15:30	青葉台まちづくりセンター	10月31日	社会福祉法人 鑑石園 ☎52-0016
11月2日からの原則毎週月曜日 13:30～15:00	富士北まちづくりセンター		在宅介護支援センター サルビア ☎66-0115

対 象 市内在住の65歳以上の人 **定 員** 各25人程度
受講料 無料(ただし、スポーツ安全保険に加入を希望する人は600円が必要)

10月の水道料金・下水道使用料 お客様センター ☎55-2846

～納入は便利で確実な口座振替で～

申し込み 直接、市指定金融機関の窓口へ
持ち物 通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世帯配付の「使用水量等のお知らせ」に記載)

※納入は2か月に1度です(地区によって納入月が異なります)。

○納入期限 10月31日(土)
 (納入通知書は、今月中旬に郵送します)

○口座振替日 10月28日(水)



市民れんらく版

★ひとり親家庭のための養育費・就業セミナー

と き 11月15日(日)
養育費セミナー 10:00～12:00
 「子どものために養育費を確保しよう」(離婚準備中の人も参加できます)
就業セミナー 13:30～15:30
 「色のチェンジでチャンスをつかむ」
ところ 東部パレット3階(沼津市)
定 員 各20人 **参加費** 無料
申し込み 事前に電話(平日9:00～16:00)で母子家庭等就業・自立支援センターへ(当日受け付け可。予約優先)
 ☎054-254-1191
 ※託児あり(申し込み時に要予約)。

10月の休日当直医

Available Hospitals in the Holiday
Pronto Socorro em atendimento fim de semana e feriadosダイヤル当直医案内
☎51-999910月の接骨師会
休日当直当番

と き	産婦人科 Gynecology & Obstetrics Gineco-Obstetrica 8:00～翌8:00	眼 科 Ophthalmology Oftalmologia 9:00～17:00	耳鼻科 Otorhinolaryngology Otorrinolaringologia 8:00～17:00	柔道整復 Bonesetter Clinica de osteopatia 9:00～17:00
11(日)	ロゼ・レディースクリニック 60-5747 蓼原町	なかじま眼科 72-0011 入山瀬	三島中央病院 971-4133 三島市	するが接骨院 51-2215 永田北町
12(月)	望月産婦人科医院 34-0445 比 奈	中央眼科クリニック 28-5533 富士宮市	沼津市立病院 924-5100 沼津市	藤島接骨院 81-4732 中之郷
18(日)	武田産婦人科医院 63-5122 宮 島	聖隷富士病院 52-0780 南 町	本橋医院 972-1133 三島市	久保寺接骨院 85-3916 北松野
25(日)	たむらレディースクリニック 65-7777 米之宮町	安藤眼科医院 26-8833 富士宮市	三島クリニック 935-6681 沼津市	佐藤接骨院 71-7396 天 間

救 急

Emergency Hospitals
Hospitals de emergencia内科・小児科・外科
Internal Medicine/Pediatrics/Surgery
Clinica Geral/Pediatricia/Cirurgias

救急医療センター ☎51-0099 津田 217-2

平日19:00～翌8:00 土曜日14:00～翌8:00 日曜・祝休日 9:00～翌8:00

〈診療上の注意〉必ず保険証を持参してください。緊急性により診察順が変わり、投薬は1日分です。

歯 科
Dentistry
Dentistas

歯科医師会館 ☎53-5555 伝法
 日曜・祝休日 9:00～12:00
 13:00～16:00

講座・教室

ビジネス支援講演会

中央図書館 ☎51-4946

と き 11月10日(火) 13:30～15:30
 ところ 中央図書館 2階視聴覚室
 内 容 カード活用術～信用力の問
 われるカード選び～
 講 師 岩田昭男さん(カード評論家)
 定 員 60人 受講料 無料
 申し込み 10月24日(土)の9:00から受
 け付けます。直接または電
 話で中央図書館へ

篆書入門

市立博物館 ☎21-3380

来年の干支「庚寅(かのえのとら)」
 を色紙に篆書で書き仕上げます。
 と き 10月30日からの毎週金曜日
 13:30～15:30 計3回
 ところ 市立博物館工芸棟染色室ほか
 対 象 18歳以上の人
 定 員 20人(先着順) 受講料 1,500円
 申し込み 10月23日(金)の9:00から受け
 付けます。直接または電話で市立博物館へ

鷹岡まちづくりセンター成人講座 「心のこもったおもてなし術入門」

鷹岡まちづくりセンター ☎71-3215

つけナポリタンづくり、おいしいお茶
 の入れ方、紙バンド作品づくりなど、富士
 市民ならではのおもてなし法を学びます。
 と き 11月13日からの毎週金曜日
 9:30～11:30 計5回
 ところ 鷹岡まちづくりセンター
 対 象 市内在住・在勤の成人
 定 員 20人(応募者多数の場合抽せん)
 受講料 300円(別途材料費2,500円程度)
 ※申し込み方法など詳しくは、鷹岡
 まちづくりセンターへ。
 ☎c-takaoka@div.city.fuji.shizuoka.jp

おわびと訂正

広報ふじ 9月20日号 3ページ「こ
 どもインフルエンザ予防接種実施医
 療機関一覧」の表中に誤りがありまし
 た。おわびするとともに訂正します。
 ・吉見整形外科→D(中学1年生か
 ら接種可) ・せきクリニック→A
 (満1歳から接種可)

文芸あれこれ講座 チャレンジ21 ～文芸についての講義・実践～

文化振興課 ☎55-2874

と き 11月14日からの毎週土曜日
 13:30～15:30 計3回
 ところ ロゼシアター 4階会議室ほか
 内 容 文芸あれこれの基本、ミニ
 エッセーの実践と指導ほか
 対 象 16歳以上の人
 定 員 50人(先着順)
 受講料 1,000円(テキスト代など)
 申し込み 10月19日(月)から受け付け
 ます。電話で文化振興課へ

リフレッシュ体操

高齢者地域包括支援センター ☎66-3405

と き 11月2日からの毎週月曜日
 (祝日、1月4日を除く)
 10:30～12:00 計18回
 ところ 富士川地域福祉センター
 内 容 転倒予防のための健康体操
 対 象 65歳以上の人
 定 員 20人程度(先着順)
 受講料 無料(ただし、スポーツ安
 全保険加入を希望する人は800円)
 申し込み 10月19日(月)から受け付け
 ます。電話で高齢者地域包
 括支援センターへ

ママ友になって話そう! 考えよう! ～ノーバディパーフェクト子育て支援講座～

子育て支援課 ☎55-2763

と き 11月6日からの毎週金曜日
 10:00～12:00 計6回
 ところ フィランセ東館育児研修室
 対 象 1～3歳の子どもを持ち、
 子育てが初めての母親(全
 日程参加できる人)
 定 員 12人(応募者多数の場合抽
 せん)
 受講料 無料
 申し込み 10月19日(月)～23日(金)に、
 電話で子育て支援課へ
 ※託児あり(申し込み時に要予約)。

ぜん息講演会

保健医療課 ☎55-2739

と き 10月26日(月) 13:30～15:30
 ところ フィランセ東館 2階ふくし
 学習室
 内 容 ぜん息の呼吸リハビリテー
 ション～安定期のトレーニ
 ングと発作時の対処法～
 講 師 宮川哲夫さん(昭和大学大
 学院保健医療学研究科教授)
 定 員 50人
 参加費 無料
 申し込み 10月21日までに、電話で
 保健医療課へ

パソコン講習会 ワードでつくる年賀状

シルバー人材センター ☎53-1150

と き
 ①月曜日コース 11月2日・9日
 ②土曜日コース 11月7日・14日
 ①②とも13:00～15:00 計2回
 ところ ラ・ホール富士7階OAルーム
 対 象 文字入力ができる人
 定 員 各20人(先着順)
 受講料 2,500円(資料代を含む)
 申し込み 10月20日(火)～22日(木)の
 9:00～16:00に、電話でシル
 バー人材センターへ

理想の体を目指そう!! 運動講座

健康対策課 ☎64-8993

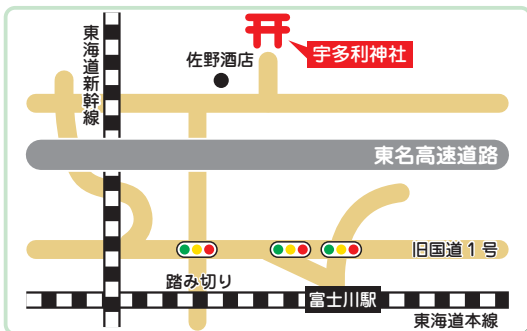
と き 11月2日(月)・9日(月)・16日(月)
 19:00～20:30 計3回
 ところ フィランセ西館4階ホール
 内 容 運動についての講義と実技
 対 象 69歳以下の運動習慣がない
 人、健診結果の「血圧・脂質・血
 糖」が正常値でない人など
 定 員 25人
 受講料 無料
 申し込み 10月19日までに、電話で
 健康対策課へ



第5回 りぷす富士杯争奪フットサルトーナメント大会 参加チーム募集

りぷす富士(市立富士体育館) ☎53-0900

と き 12月13日(日)
 ところ 市立富士体育館
 対 象 中学生以上で、市内在住・
 在勤・在学の人を含む8人のチー
 ム(控え選手3人を含む)
 定 員 32チーム(応募者多数の場合
 抽せん)
 参加費 1チーム8,000円(保険料含む)
 申し込み 11月8日(日)の8:30～9:00に、
 参加費を持参し、市立富士体育館へ



= 64 = 

宇多利神社秋季大祭

昭和22年10月16日
(中之郷)



宇多利神社氏子の皆さん
左・若月 彦三郎さん
中・渋谷 静雄さん
右・漆畑 聡さん
(中之郷)

今も昔も 地域みんなの楽しみ
宇多利神社秋季大祭は、五穀豊穡を祝って昔から行われている祭りです。
昔は、祭り前日に青年たちがちやうちんを持って境内に集まり、剣舞や甚句などの伝統的な芸能が行われました。各町内でも子どもたちが剣舞や甚句を行い、地域の人が集まってとてもにぎやかでした。でも戦争が始まり、昭和10年代に入ると剣舞などはやらなくなりました。
戦後昭和20年代には、よそにない、にぎやかな祭りにしようと、青年たちが工夫を凝らし、祭りを盛り上げました。仮装行列や山車の引き回しなどを行いました。昭和50年ごろ、みこしを保有していた町内の子どもたちがみこしの練り歩きを行ったのをきっかけに、その後、宇多利神社を氏神とする15の全町内で行われるようになりました。
ことしも子どもたちがみこしを担いで自分たちの町内を練り歩きます。最近では踊りやバザーも行われています。今も昔も、子どもから年寄りまで地域のみんなが楽しみにしている祭りです。これからもみんなで盛り上げていきたいですね。

こちら編集室

8・9月は、防災訓練や地区体育祭、敬老会など各町内会(区)の主要行事がメジロ押しでした。参加者及び役員の皆さん、お疲れさまでした。私も役員の一人として、体育祭の運営をお手伝い。弁当や飲み物の手配をする中、持病の腰痛が再発…。で

も、町内の皆さんが楽しそうに行事に参加している姿を見て、疲れも痛みも和らぎました。さて、町内会(区)については、広報ふじ11月5日号で特集をします。町内会(区)に関して、ご意見や日ごろ感じていることなどを広報広聴課へお寄せください。(ま)

人口	261,581人	(前月比-10)
男	129,540人	(-10)
女	132,041人	(±0)
世帯	96,488世帯	(+33)
9月1日現在		
編集・発行 富士市総務部広報広聴課		
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100		
☎0545-51-0123(代) ☎0545-51-1456		


**おしえて
コパルふじ**
53-1111
受付時間
8:30~19:00